

科目名	物理	科目コード	10160
-----	----	-------	-------

学科名・学年	全学科・2年
担当教員	松永 茂樹、新井 好司、篠崎 亮
単位数・区分	2単位・必履修
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義48，演習8，実験0，その他4】
教科書	兵頭 申一，福岡 登 編：高等学校 物理 （啓林館）
補助教材	プリント
参考書	

【A．科目の概要】

古典物理学における運動方程式の思考過程，即ち，事象における原因と結果との関係を論ずることを中心として，自然界に見られるいろいろな事象を考察することを学ぶ。

【B．到達目標】

この科目の到達目標を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
運動方程式の思考過程の概念を理解する。	-	-
基本的な運動の定量的な取扱いを身に付ける。	-	-
異なる分野の様々な事象に対しても、根底には物理の基本法則が存在することを理解する。	-	-

【C．履修上の注意】

思考過程を最も大切とする物理の本質的な理解は，公式等の暗記だけではカバーすることができない。地道な予習と復習が内容理解のキーポイントである。

【D．評価方法】

前期・後期とも中間および期末に計4回の試験を行う。授業中に適宜問題演習を行い，授業へ取り組む態度も評価に加味する。50点以上を合格とする。

【E. 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	ガイガンス / 生活と電気	
2	物体の運動	
3	物体の運動	
4	物体の運動	
5	力と運動	
6	力と運動	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	答案の返却と解説 / 力と運動	
9	力と運動	
10	仕事とエネルギー	
11	仕事とエネルギー	
12	仕事とエネルギー	
13	仕事とエネルギー	
14	これまでの復習	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

週	内容	備考
1	熱とエネルギー	
2	熱とエネルギー	
3	いろいろな波	
4	いろいろな波	
5	いろいろな波	
6	音波	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	答案の返却と解説 / 音波	
9	音波	
10	光	
11	光	
12	光	
13	光	
14	これまでの復習	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	